

# ペット館ニュース4月号

## アクアニュース

4月号より新しくカブクワニュースをお届けいたします。担当はアクア担当でもあり、昆虫大将でもある坂上さんがお送りいたします。毎月新しい情報が盛りだくさん！お楽しみに！

**鳩 宿** 先月号で青仔が入荷するのは中旬ごろと書きましたが見事に予想が外れました。すみません。だが、安心してください。4月に入りやっと「らんちゅうの青仔入荷」しました！初回入荷はなんと「浜松らんちゅう協会から鈴木和夫氏作の青仔」たちです。どれも型が良く将来が楽しみな子たちばかりです。価格の方は税込み498円と大サービス！今回は30匹限定なので見かけたらお早めどうぞ！今後は順調に入荷してくれるのを祈るばかりです。アクアコーナーでは配置の変更がありました。水草コーナーが中央にドーンとお引越しです。また、今まで水草コーナーだった所がシュリンプコーナーやベタコーナーなどに変わります。どうぞ期待！

**益 満** 4月に入りました！暖かい日より暑い日が増えてきたような気がします。今月は「シュリンプの病氣」について書いていきたいと思えます。生きものを飼育していく上で病氣とは付き合っていかなければならない壁になります。今回は主にお店でも見かけたことのある2つをご紹介します。「①エビヤドリツノムシ」：頭の先端あたりに白く短い糸のようなものが付きます。基本的には、シュリンプには害がないと言われているようです。シュリンプの脱皮と共に抜け殻と一緒に落ちていくこともあるみたいですが、すぐに寄生しなすみたいなので対処法として、塩水浴が効果的になるそうですがミナミヌマエビやスジエビ以外に塩水浴を行うのはあまりおすすりできないです。他のシュリンプにも移る場合があるみたいなので気になる場合は隔離しておきましょう。「②エドヤドリモ」：お腹から足にかけて黄色のふさふさしたものが付きます。初めてみると抱卵しているように見えるかもしれません。エビヤドリモは実際に害があるのかまだわかっていないようです。シュリンプの筋肉部分に食い込み脱皮をしても取れない厄介者になります。また塩水浴も効かないので今のところ大きな対処法はないみたいです。すぐに亡くなってしまうこともないみたいですがメスだった場合抱卵ができなくなるのではないのではといわれています。シュリンプ自体が薬を使えないことがほとんどなので一番の対処法としてはお店でシュリンプを飼う場合はしっかりと様子を見てから連れて帰ってあげましょう！！！！

## カブクワニュース

**坂 上** 今月のカブクワニュースは「新着フィーバーです！」をお届けします。去年は新型コロナウイルスの影響で外国産クワガタムシ・カブトムシがほぼ入荷なしでさみしい限りでしたが、今期は仕入れ先の方々の努力もあり早くもこの時期にいろいろと入荷しています！！初入荷&久しぶりの入荷としては、まるで金属ボディのような「メタリフェルホソアカクワガタ」が成虫ペアと幼虫、国産マルバネクワガタの「ヤエヤママルバネクワガタ」は幼虫で入荷、また「インターメディアツヤクワガタ」なんかも幼虫で入荷しています。またお馴染みの「スマトラヒラタ」や「ダイオウヒラタ」に「セアカフタマタ」や「ニジイロクワガタ」も成虫で入荷しています。その他にも多くの種類の幼虫&成虫が入荷していますので、ぜひ小動物コーナーの昆虫コーナーをご覧くださいませ。  
質問・疑問等あれば私、坂上までお気軽にお尋ねくださいませ。